

平成28年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



海老名市立海老名小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成28年4月19日(火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 基本的な知識について、概ね理解しています。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり(快晴・貯金等)、書いたり(種・親しい等)することができます。
- 目的に応じて、図と表から必要な情報を取り出し、関係付けて読むことができます。

《努力を要する所》

- 物語の登場人物の人物像を、複数の叙述を基にして捉えることにやや課題があります。
- ローマ字を読んだり書いたりすることに課題があります。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的や意図に応じて、表を基に自分の考えを書くことが概ねできています。
- 目的に応じて、複数の本や文章等を選んで読むことや、それらを比べて読む等の効果的な読み方を工夫することができます。

《努力を要する所》

- グラフを基に、分かったことを的確に書いたり、自分の考えを書いたりすることに課題があります。
- 質問の意図を捉えることや、話し手の意図を捉えながら聞き話の展開に沿って質問することに、やや課題があります。

これまでの取組から

- 漢字指導を丁寧に行い、日常生活の中で積極的に使うよう指導してきたことが、理解につながっています。今後も継続していきます。
- 朝読書の推進や学校図書館支援員との連携による学習環境整備が、読む力の向上につながっています。今後もさらに進めていきます。

今後の具体的な取組について

- ローマ字を、日常生活で使われている場面と結び付けながら指導していきます。
- 物語の各場面に描かれた行動や会話等、複数の叙述を関連付けて読み、人物像を捉えることができるように指導していきます。
- 国語の学習と他教科等の学習を互いに生かし、必要な情報について適切な言葉を用いて記述したり、目的意識をもって主体的に聞いたりすることができるように取り組んでいきます。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 基本的な知識について概ね理解し、計算式から正確に答えを求めることも概ねできています。
- 示された場面を適切に読み取り、場面を式に表すことができています。
- 三角形の底辺と高さの関係、直方体における面と面の位置関係について理解しています。

《努力を要する所》

- 割合が百分率で表された場面で、基準量、比較量、割合の関係を捉えることに課題があります。
- 除数が1より小さいときの商が被除数より大きくなることや除法の性質は小数の場合も成り立つことについての理解に、やや課題があります。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 示された条件を基に他の場合について検討し、きまりが成り立つかを調べることができています。
- 正方形に内接する円の半径について理解しています。
- 2つの表を基に、読み取ることができる事柄とできない事柄を特定することができています。

《努力を要する所》

- 前提となる条件や読み取った事柄を基に、示された事柄の理由や意味について記述することに課題があります。
- 図形を構成する角の大きさを基に四角形を並べてできる形を判断することに課題があります。

これまでの取組から

- 計算練習等、基本的な知識・技能の繰り返しの学習を継続してきたことが、学習内容の定着につながっています。今後も進めていきます。
- 児童の主体的な学習を目指して校内研究として取り組んできたことが、筋道立てて考え、説明し、互いに考えを深めていく力につながってきたと考えます。さらに推進していきます。

今後の具体的な取組について

- 学習内容を既習事項や日常生活と関連付けて考えたり、問題場面を明確にイメージしたりして解決にあたるように、今後も指導を工夫していきます。
- 自分の考えを根拠を明確にして書いたり説明したりする学習を、



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- ほとんどの児童が家で宿題をし、学校で好きな授業があります。
- 読書が好きな児童は約8割で、全国より高いです。学校図書室や地域の図書館にほとんど行かないと答えた児童の割合が全国より低いです。
- 国語で段落や話のまとめごとに内容を理解しながら文章を読む、算数で新しい問題に出会った時に解いてみたいと思う児童が多いです。
- 友達の話や意見を最後まで聞くことができるかと答えた児童が多いです。

《課題と思われる所》

- 原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと思う児童が約6割います。
- 自分の考えを説明したり文章に書いたりすることを苦手と感じている児童が半数ほどいます。

生活について

《よかった所》

- 多くの児童が規則正しい生活を送っていることがうかがえます。
- 平日1日当たり2時間以上、テレビゲーム(携帯・スマホ等含む)をする割合は約17%で、全国より低いです。
- 学校のきまりを守っている、いじめはどんな理由があってもいけない、人が困っていたら進んで助けていると答えている児童が多くいます。
- 物事を最後までやり遂げたり、学級で協力してやり遂げたりしてうれしかった経験のある児童が多いです。

《課題と思われる所》

- 難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していると答えた児童は約7割で、全国より低いです。
- 地域の行事に参加している、地域や社会の出来事に関心があると答えた児童の割合が、全国より低い傾向にあります。

これまでの取組から

- 「挨拶運動」や学校生活の約束等をもとに、保護者・地域の方々の協力を得て進めてきたことが、基本的な生活習慣の定着や規範意識の高まり等につながっています。今後も進めていきます。
- 学校図書館支援員との連携を深め、ボランティアの方々の協力を得てきたことが、読書への関心の高まり、図書館利用へとつながっていると考えます。今後も推進していきます。

今後の具体的な取組について

- 児童一人ひとりの努力の過程を大切に、認め、褒め、励ます等して、挑戦する気持ちが高まるよう支援していきます。
- 各教科や総合的な学習の時間等で、自分の考えを書いたり発表したりする取組を継続していきます。
- 学校・家庭・地域の連携をさらに深め、地域の方々のご支援を頂きながら様々な学習を進めていきます。



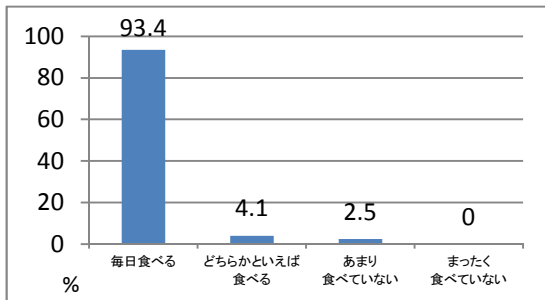
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 「早寝・早起き・朝ごはん」を続けましょう

「早寝・早起き・朝ごはん」等、規則正しい生活習慣は、学習意欲・体力・気力の向上につながります。

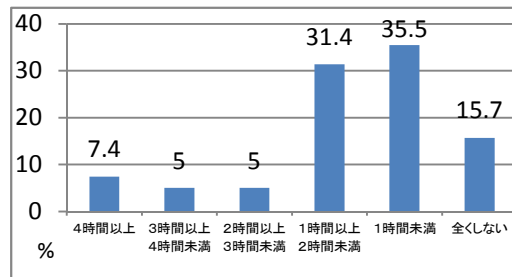
朝食を毎日食べていますか



2 時間の使い方を話し合い、ルールを決めましょう

長時間のゲームは生活リズムの乱れにつながります。時間の使い方を見直し、ルールを決めましょう。

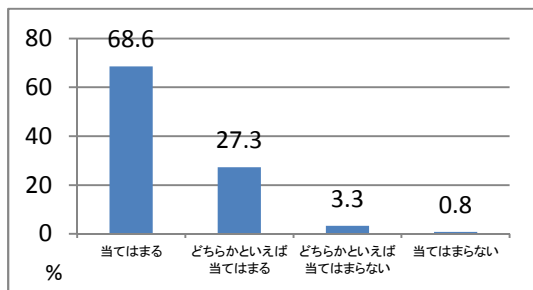
普段一日どれぐらいの時間ゲームをしますか



3 ねばり強く取り組み、やり遂げることを経験しましょう

こつこつと、くじけないでやり遂げることは、自信と大きな成長につながります。

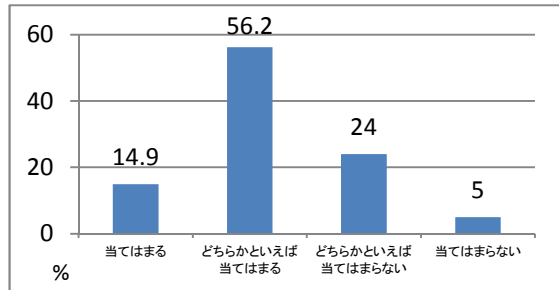
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか



4 努力する気持ち・挑戦する気持ちを大切にしましょう

挑戦することで可能性が広がっていきます。失敗を恐れずに取り組んでみましょう。

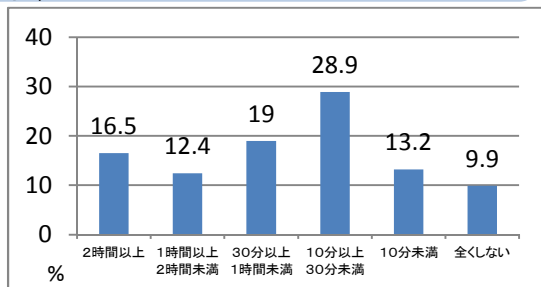
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



5 本に親しみましょう 読書は心の栄養です

読書は、豊かな心と感性を育み、考える力や表現力、創造力を伸ばします。

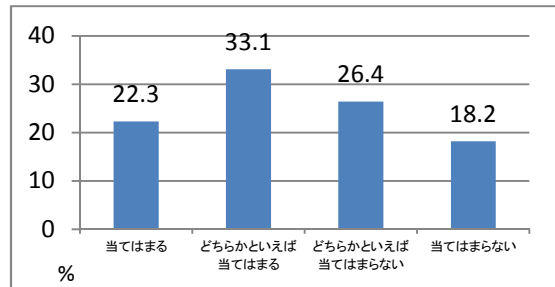
授業以外に、普段どれぐらいの時間、読書をしますか



6 地域の方々とのつながりを大切にしましょう

子どもたちは地域の中で育ちます。地域の行事に参加し、交流の輪を広げていきましょう。

今住んでいる地域の行事に参加していますか





平成28年11月